情報基礎２　第１回課題

総合政策学部１年　豊城惇（71405919）

まずHTMLとは人間とコンピュータの間をつなぐ１つの言葉のようなものであり、人間がHTMLを使ってページの構造を示すことができる。例えば、<p>~</p>で示された文章は１つのパラグラフであるという意味になる。<h1>~<h2>で示された文は１つの見出しであるという意味になる。このように、HTMLという言語を使って人間がコンピュータに意味を伝えることができる。

基本構造は、

<html>

<head>

<title>~</title>

</head>

<body>

</body>

</html>

まず<html>~</html>を記述することで、このファイルはhtmlという言語で書かれているということをコンピュータに示す。次に<head>~</head>の中にはヘッダー情報を記述する。例えばどの文字コード、どのスタイルシートを使っているかなどといった情報を示す。<body>~</body>の中に記述されたことはブラウザ上に表示される。

※参考：http://masaboo.cside.com/new\_html1/ht\_02.htm

次にCSSであるが、CSSはHTMLと同様に人間とコンピュータの間の言語である。ただしCSSはページの構造ではなく、文字のフォントやサイズ、色といったデザインを示すことができる。CSSはHTMLとは別のファイルに作成し、HTMLの中にそのCSSの適用範囲を示す。するとHTML内の文章のデザインを変更することができる。下に載せるサンプルでは、CSSファイルに文字サイズを指定するための表記をしている。そしてHTMLファイルの中でその適用範囲を示している。

【CSS】

.size {  
font-size: 20pt  
}

【HTML】

<div class="size">文字のサイズを20ptに指定してみました。</div>

* 参考：<http://www.aichan.biz/html/>